

介護職員等特定処遇改善加算における情報公開（見える化要件）

社会福祉法人穩寿会では、平成24年4月より「介護職員処遇改善加算」による介護職員の処遇改善をおこなってまいりました。令和元年10月からは、「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、当法人におきましても加算の算定を行い夜勤手当の充実など更なる改善を行っております。

「介護職員等特定処遇改善加算」の算定要件

- ・ 現行の処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定していること
- ・ 介護職員処遇改善加算の職場環境等要件に関し、複数の取り組みを行っていること
- ・ 介護職員処遇改善加算に基づく取り組みについて、ホームページへの掲載等を通じた見える化を行っていること

「職場環境等要件」の取り組み

賃金改善に加え、次の職場環境の向上に取り組んでおります。

	職場環境要件	当法人の取り組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア等の受講支援	実務者研修、喀痰吸引研修、認知症介護実践者研修等、介護職員の資質の向上となる研修費を法人が負担し積極的にスキルアップを目指せる体制となっています。
労働環境・処遇の改善	新入介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター（新人指導担当者）制度等の導入	入職後、先輩職員がそれぞれのスキルに合わせ専任でサポートする体制をとっています。
	雇用管理改善のための管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	法令の改正時には管理者会議で周知と対応を検討しています。衛生委員会においては、産業医・職員・法人が一体となって職場環境の整備と啓蒙活動に努めています。 有給休暇取得を推奨するために管理者から取得の声掛けや、取得状況を法人も毎月確認する体制を取っています。 入職後間もない年次有給休暇付与前の職員には、法人独自の有給休暇制度を「職場定着支援休暇」として整備しています。
	ICT活用による業務省力化	介護記録アプリを使用し、各種記録や情報を共有化することにより業務の効率化を図っています。

労働環境・処遇の改善	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	腰痛予防対策のために電動介護リフトを導入し、見守り対策のために離床センサーを導入しています。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の充実	子育てと仕事が両立できるように、子育ての時期に合わせた働き方を支援するために、労働時間・勤務区分・部署異動を柔軟に対応しています。 小学校就学前まで短時間勤務を取得可能としています。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	事故対応・再発防止マニュアル、事故防止委員会、BCP委員会により責任体制の明確化と組織体制を整備しています。
その他	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	健康診断・腰痛健康診断の実施、インフルエンザ予防接種は法人負担で実施、ストレスチェック・産業医の面接・必要に応じてカウンセラーによる心の支援体制をとっています。 全館禁煙とし受動喫煙の防止と、敷地内に喫煙所を整備し喫煙者にも配慮を行っています。
	介護サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化	介護サービス情報公表制度により法人の経営理念・職員の行動指針・人材育成理念を公表しています。 職員の行動指針は、「私たちの心がけ8か条」として朝礼時に唱和を行っています。
	地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上	地域の児童・生徒・住民と行事やボランティア活動を通して交流が盛んです。又、介護に対する講習会・見学会も開催しています。
	非正規職員から正規職員への転換	職員それぞれの働き方を尊重し、正規職員への転換を積極的に行っています。